

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代組織論		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石野 徳子	415	t.ishino	水曜日 16:00～17:30		
授業の目的・概要	体験をとおしてグループ中での役割を認識し、共同目的を達成するために必要な能力を養成するとともに、進んで目的を設定し確実に行動する態度や自発的・自律的に課題に取り組む姿勢を涵養することを目的とする。具体的には集団の理解とその中での人間関係の力学を学び、リーダーの責任、メンバーとしての役割、コミュニケーションのあり方等協働・協調を図りながら問題を解決するための基礎的な知識と方法論を学習する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート				
学習上の助言	事前に教科書を読み予習して講義に臨むことが望ましい。				
教科書	系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践① 看護管理 /著:上泉和子 /医学書院 /2018				
参考書	現代組織論 /著:田尾雅夫 /勁草書房 /2016				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	組織とは何かについて説明できる。		HSU(1)(4),NS(1)(2)		
②	組織におけるリーダーシップの役割について説明できる。		HSU(1)(4),NS(1)(2)		
③	組織目的達成に必要なマネジメントについて説明できる。		HSU(1)(4),NS(1)(2)		
④	組織における倫理の重要性について説明できる。		HSU(1)(4),NS(1)(2)		
⑤	医療・福祉施設などの組織体系と目的について説明できる。		HSU(1)(4),NS(1)(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ガイダンス、組織とは、組織デザインについて学習する。	講義	予習:組織に所属した経験について考えておくこと。	4	
2	コミュニケーションと意思決定について学習する。	講義	予習:コミュニケーションに必要な要素について考えておくこと。	4	
3	職場集団とリーダーシップについて学習する。	講義 グループワーク	課題①:リーダーシップに求められる資質についてグループワークを通し検討しまとめる。	4	
4	組織目的達成のマネジメントについて学習する。	講義	課題②:病院の組織図をインターネットや病院案内パンフレットから探して印刷して持参する。	4	
5	サービスとプロフェッショナルについて学習する。	講義 グループワーク	予習:医療従事者に求められるサービスとは何かについて考えること。	4	
6	社会化とコミットメントについて学習する	講義	予習:組織にコミットするためには何が求められるのか考えておくこと。	3	
7	組織と倫理について学習する。	講義 グループワーク	課題③:組織と倫理についてグループワークを通して考えたことをまとめる。	3	
8	7回までの講義内容の振り返り、ディスカッションを行う。	ディスカッション	課題④:ディスカッションを通して学んだこと、気づいたことをまとめる。	4	
試	試験なし				

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	30	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20	
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	課題について、その都度説明する。課題に対する学生の理解度や自分の考えが述べられているのか、文字数、誤字、脱字、提出日時を守っているかなども評価に含む。また、学びを通し、新たな気づきがリアクションペーパーに、記述されているかなどについて総合的に評価する。				課題が提出された時点で、気になる点について指導する。必要に応じ、コメントを入れて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	グループワーク、ディカッション時、自分の意見を述べられているか。他者の意見に対する自分の考えや意見を述べているかなどを評価する。				発言されて意見を尊重するが、解釈が誤っている場合には、指導する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	看護師・看護管理者として30年間の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	これまでに培った臨床経験を講義の場で活かすように、事例を取り入れることや病院や大学教育で経験したことなどを伝え、学生がよりリアリティを感じ理解を深められるように工夫をしながら講義を行う。						
その他	・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある。						